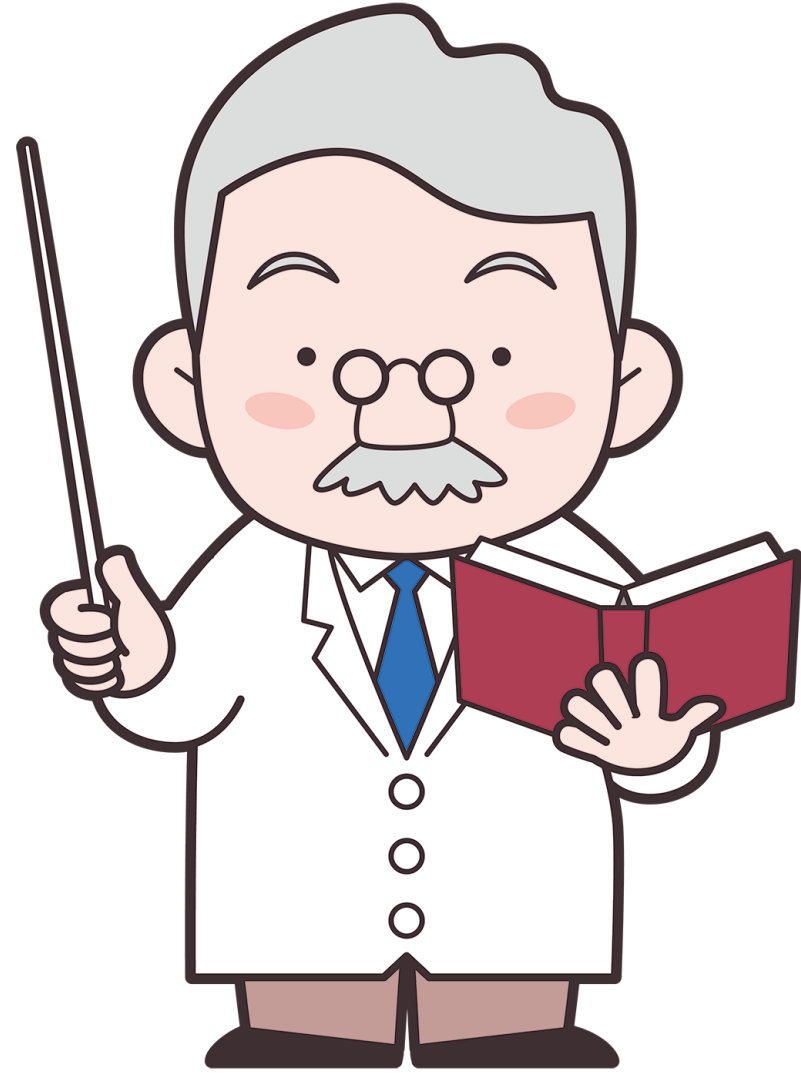


信州大学における特許出願フロー



研究立案
(文献調査)

研究

成果

発明相談

発明届提出

発明審査委員会

特許出願

審査・登録

事業化
(技術移転)

共同研究

研究費獲得

1 チェックポイント 忘れずに特許調査を
研究を行う際には、特許調査を行い、従来技術の調査をすることが重要です。
特許調査によって、重複研究を防止できるほか、技術動向を把握し、研究テーマを定める材料とすることもできます。

2 チェックポイント 相談は発表前に
一旦公開された発明は、その後に特許出願しても特許化は困難です。成果を発表する際には、出来る限り事前に特許出願を行うことが重要です。

3 チェックポイント まずは相談を
発明届の提出前に、まずは技術スタッフと面談頂いて、特許出願の可否等について相談をさせていただきます。
知的財産室では、発明相談を随時受け付けています。お気軽にお問合せ下さい。

4 チェックポイント 発明審査委員会
発明届が提出された発明は、工学分野、ライフサイエンス分野ごとに毎月1回行われる「発明審査委員会」に諮られ、特許出願を行うか、特許出願を行う場合の費用負担をどうするか、等についての審査が行われます。

6 チェックポイント 特許登録までの期間
出願から特許登録までは、通常、4~5年の期間が必要になります。
登録までに必要な手続
・出願審査請求 出願から3年
・実体審査 平均1~2年

5 チェックポイント 特許出願に必要な費用

特許出願にかかる費用(概算)

	特許事務所依頼の場合	学内処理の場合
出願	約30~40万円	1.5万円
審査請求	約20万円	約10万円
拒絶対応	約10万円	0円
設定登録	約10万円 (成功報酬含む)	約1万円
備考	発明者の作業量: 小	発明者の作業量: 大

発表前に特許出願を!

ここから発表OK